

KiKiの広場

2012年 9月 1日

cafe NO.23
KiKi



「ヒストリア字部」と共に「cafe KiKi」も、もうすぐ2周年を迎えます。最初は2百冊だった絵本も今では絵本と児童書合わせて6百冊以上になりました。店内はペンダントライトがついたり本棚が増えたり、外にはアーチやオープンテラスができたりと、少しずつ変化いえ進化していています。ただスタッフメンバーはオープン当初と変わらず、みんなますます元気に仲良く頑張っています。これからも支えていただいている周りの方への感謝の気持ちを忘れずに、自分自身も進化していけるよう努力していきたいと思ひます。

9月の予定

11日(火) 休館日

「今月のケーキ」…「マロンケーキ」300円



マロンクリームをカラメル風味のスポンジではさんで、クラッシュマロンとマロンペーストをトッピングした、昨年も好評だったマロンケーキです。



今月のお気に入り…「おいしいちゃん・おぼあちゃんの本」

～「エマおぼあちゃん」「ほくのおいしいちゃんのかお」「うさこちゃんのおいしいちゃんとおぼあちゃん」「にげだしたひげ」など～



敬老の日にちなんで特集を組んでみました。昔ばなしを始めいろいろなおじいちゃんおばあちゃんができます。「エマおぼあちゃん」は、1人暮らしのおばあちゃんにすてきな楽しみができるお話です。バーバラ・クーニーの絵を楽しみながら、こんなおばあちゃんになりたいと思う絵本です。

「ほくのおいしいちゃんのかお」は写真絵本です。俳優の故加藤嘉さんのいろいろな表情を撮ったものですが、添えられたシンプルな文章と優しくマッチして、見ているだけで温かい気持ちになります。



今月の本棚…「テイヴィッド・ウィズナーの世界」

～「アートとマックス-ゴキゲンなゲイジュツ」「夜がくるまでは」「セクター7」「1999年6月29日」などなど～



変幻自在というかウィズナーの全く形にとらわれない発想を、ただただ強烈にすごいと思っています。そして絵本界のアカデミー賞と言われるコールデコット賞を3度も受賞している、緻密で手にとったら大人でもほしくなる絵もすばらしいです。「アートとマックス」は、まさしくゴキゲンなゲイジュツを見せてくれます。う～ん、絵を描くってめっちゃくちゃ楽しそう！と絵が描きたくなります。「夜がくるまでは」は、がらりとかわってモノクロで迫力満点の不気味な絵です。西洋建築物に見られるガーゴイル（怪物などをかたどった彫刻からなる雨どいのこと）が、夜になると徘徊するというお話です。最初は怖いと思ったガーゴイルたちが、仲間同士ぼやきあったり、ふざけあったりして、だんだん哀愁を漂わせてきて憎めない存在になります。なんとも不思議なウィズナーの世界に酔いしれてみてください。



ほっとフレイク

お盆休み直前に2組のお客さまがご来店。1歳半の女の子と1歳3か月の男の子とそれぞれのお母さん。久しぶりに会ったという若いお母さん同士、話に花が咲きおおいに盛り上がっていました。小さなカップルも木の椅子に座り、絵本を見たり折り紙のコマで遊んだり、その様子をお母さんたちが写真を撮ったりととっても楽しそうでした。そのうち、お菓子をお母さんからもらった男の子がよちよちと歩きながら食べようとしたので、「ちゃんこして食べるよ。」とお母さんが一声。すると男の子はペタンとその場の床に座って食べ始めました。「あらあら椅子があるのに。まっいいか、ここきれいだもんね。」とお母さんは離れたところでニコニコ。ところが今度はそのお菓子を床に落としてしまいました。と、もう1人のお母さんがさっと側にいってお菓子を拾い、ふうふうと息を吹きかけて、「ハイ、3秒ルール大丈夫！」と言って男の子に渡しました。男の子のお母さんも「そうそう、平気平気！」とにっこり。最近やたら除菌だ、消毒だ、殺菌だなんてちょっぴり神経質になりがちな傾向の中、なんともおらかなお母さんたちの様子になんだかほっとしました。(*^。^*)

